

C-CAT 調査結果のポリシー

Ver 1.3 2023年8月3日作成

1. C-CAT 調査結果はエキスパートパネルの参考資料として、検査会社からのレポートを補足するものとして作成される。バリエーションの情報（バリエーション名や有無の確度を含め）は、検査会社からのレポートの確認が必要となる。
2. C-CAT 調査結果は各社の検査ごとに、検査レポート内の情報から臨床的に意義のある項目を選択・抽出し、それらについてアノテーションの結果を提供する。
3. 2の C-CAT 調査結果内で扱う情報は、選択の妥当性・透明性を高める目的で、必要に応じて当該検査企業や、有識者など第三者の意見を聞いた上で C-CAT が決める。
4. 原則、検査レポートに含まれない検査結果情報（検査レポート作成の中間情報として XML 等でのみ提供される情報や、別契約等により C-CAT のみに提供される情報）を C-CAT 調査結果内で扱うことをしないが、例外的に扱う場合はその目的や理由を明示する。
5. 検査会社からの検査レポートには参考として提供される様々な情報がある。そのうち、臨床的意義があるが基準値に満たないなどの理由で参考として提供される情報については、再検査や診療を行うために有益であるため、可能な限り、C-CAT 調査結果の中でアスタリスク（*）を付けるなど明示する。
6. 検査会社へは、臨床的意義付けなど付随情報を除き、検査レポートで施設に提供される全ての情報を C-CAT 指定のフォーマット（CATS フォーマット）で提供するように求める。
7. 6に加え、検査レポートには含まれないが、情報利活用の観点で重要と思われ、C-CAT 調査結果内で扱うことが望ましいと考えられるその他の情報について C-CAT 内で検討し、内容・方法含め検査会社に提供への協力を求める。